



NEWS LETTER かながわ

2021年度第1号(通巻第29号)

2021年12月 神奈川支部 発行

連絡先 e-mail:jacdpanagawa@gmail.com

今年度の神奈川支部の活動は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、支部総会・第1回資格更新研修会、そして次回の第2回資格更新研修会の全てをWeb開催といたしました。皆さまどのような感想をお持ちでしょうか。今回のニューズレターは、第1回資格更新研修会の報告を中心にお届けいたしますが、ご意見ご感想がありましたら、是非上記連絡先までお願いいたします。

巻頭言

神奈川支部副支部長・幹事 吉川知夫

全国の緊急事態宣言等が解除され、新型コロナウイルス感染症が少し落ち着きを見せている状況ですが、支部会員の皆様におかれましては、引き続き感染症対策を行いながらの業務等が続いていることと思います。

今年度は、神奈川支部研修会もオンラインで実施とすることとし、9月に第1回資格更新研修会を開催しました。コロナ禍で、これまで集合して対面で行っていた研修が、突然オンライン研修に替わり、試行錯誤しながらの実施となりました。しかし、オンライン研修のメリットや働き方改革への対応もあり、今後もオンライン研修は継続、定着していくと考えられます。学校現場では、GIGAスクール構想に伴って、ICT機器の整備が一気に進みました。整備された機器を、子供たちの学びを充実させるために、どのように活用していくことが効果的なのか、現場での実践が進んでいくことが期待されています。学校現場をフィールドとする臨床発達心理士においては、ICTの利活用を含めて、その役割を考えていくことが求められているといえるでしょう。

神奈川支部では、これまでの研修会において、多様な職域の支部会員の交流も含めて、ひとつの柱として事例検討会を重視してきました。オンラインで事例検討を行うことの難しさから、コロナ禍での実施はできていない状況です。今後、オンライン研修の質の向上を図っていくとともに、集合して対面で実施する研修会の内容についても検討していきたいと考えています。

さて、そろそろ来年度の活動計画を考え始める時期となりました。支部活動を充実させていくために、会員のみならずご意見やご要望等をお聞かせいただければと思います。研修会に限らず、なんでも。どうぞよろしくお願いいたします。



神奈川支部研修会報告

2021年9月26日(日)に、第1回資格更新研修会をオンラインで実施しました。講師の先生には、最初をお願いしてから2年近くかかってようやく実現した講演会となりましたが、大変有意義な内容でしたので、ご報告いたします。

講演会

○「豊かな成人期を迎えるために今出来ること～障がいのある方々の生活を支える立場として～」

講師：平野 章氏（社会福祉法人かたるべ会 理事長）

障害児の保護者や支援者は愛情と一緒に心配の種を抱えています。幸せに暮らしてほしい、卒業後の進路は、親亡き後は、今のうちにできることは何だろうと、ぐるぐる考えることは、皆さんも「あるある」ではないでしょうか。平野先生は、最初に就職した入所施設で利用者が就職できないことに疑問を感じて退職し、自宅で『かたるべ会』を開業してから30周年を迎えられました。

平野先生のお話の一つ目のポイントは、支援者の心配（都合）が優先された「転ばぬ先の杖」が障害者の「人として当たり前の幸せ」に貢献しているかどうか、再度考え直す必要があるのではないかとのことでした。健常者は成人して自立し、仕事をして収入を得て、余暇を楽しみ、結婚して家庭を持ち、子育てをして・・・自由に生活していきます。『かたるべ会』では、障害が重くても仕事をして（できる仕事が準備され）、地域生活をし、希望すれば家族を持つことが普通にできる支援をしていることをご紹介いただきました。もちろん、地域で暮らせば、様々なことに出会い、その中にはトラブルもあり、地域に迷惑をかけてしまうこともある、それを職員と乗り越えていく、また、結婚や子育てができるような支援もしていくということでした。パートナーと暮らせる幸福や、子どものために頑張る責任感はそのことでしか得られないというお話と利用者の方の自信に満ちた笑顔の写真が印象的でした。

二つ目のポイントは、「強みを生かす」実践でした。『かたるべ会』を運営する中で、障害者雇用担当として外資系企業に勤務された経験から、利用者の強みを生かす支援をしていってほしいということでした。「強み」と「気になる特性」は表裏の関係で、職員が特性を「強みの言葉」で言い換えると、行動問題のとらえ方が変わり、課題は薄れていくということでした。利用者だけでなく、職員の仕事の仕方も同様で、各職員の強みを生かす仕事の仕方やプログラムの提案制度を進めていく中で、職員の特技を生かした音楽活動や演劇等の創作プログラムが始まり、利用者の社会活動の幅を広げることにつながったという紹介もありました。

『チームの中で愛を感じ、集団の中で自分の居場所を見つけることが、安心して過ごすことにつながり、次の段階への成長にもつながる』という法人の理念を法人運営の方法とともに伺ったことで、ノーマライゼーションについて改めて考えることができました。また、障害者福祉の今後の方向性についての示唆をいただくこともできました。

『かたるべ会』の活動は、ホームページはもとより、YouTube、Twitter、利用者の方々の個人YouTube等でたくさん発信しています。Instagramでも発信しています。『#かたるべ会』でぜひご覧ください。
(研修担当 由谷るみ子)

講演会の様子 平野章氏



蘭牟田支部長



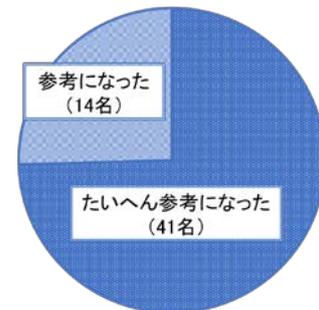
アンケート結果

74名のご参加者の内、55名(71%)からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。ご意見・ご感想の一部をご紹介します。

■研修会の内容について

- ・平野先生の強くゆるぎない理念が伝わってくる内容でした。
- ・貴重な現場の実践、具体的な支援の仕方はもちろんですが、人間の尊厳を基本に将来を視野に入れ、一人一人が人間として自立できる様々な方法を実践していらっしゃることに刺激を受けました。
- ・乳幼児期の発達相談に携わっております。先の未来にこのようなかたちがあること、その未来に向け今を大切にすることを学べた有意義な研修でした。
- ・幅広い年齢層の方たちの、生活全体を見ている先生ならではの視点に、ハッとさせられました。私自身は幼児期～学齢期の親子を担当していますが、卒業するとその後を追うことができません。短い出会いの期間に保護者と子どもに何を伝えていくべきなのか、考える良い機会となりました。
- ・「自立」とはなんぞや？と向き合いながら日々子どもたちと関わってきました。支援を受けながらよりよく生活していくイメージが具体的に持てるようになる研修でした。
- ・前任校の卒業生が「子育てしているママ」として変わらぬ笑顔でいることを知り、懐かしく、嬉しく、感無量の気持ちでした。
- ・なかなか丁寧に時間をかけて対象者の人とかかわることが難しい状況ですが、ありのままを認めていける臨床活動をしていきたいと感じました。
- ・職員の研修で、「自身を知る」という観点に興味を持ちました。

Q. 研修の内容はいかがでしたか



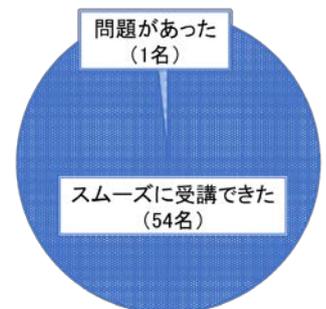
■運営面について

- ・途中で雑音が入って聞きにくくなったが、入室し直したら直りました。

■今後の神奈川支部主催研修会のテーマや形式などについて

- ・改訂された新版K式発達検査について。
- ・発達障害のある高校生や大学生の支援について。
- ・発達障害の方の成人後の支援（就労、住宅、親なき後の経済面など）。
- ・訪問支援に焦点をあてた、学校、支援機関、医療、行政との連携について。
- ・講師の先生は受講生の反応が見られずやりにくい部分があるかと思いますが、時間や労力の有効活用などの面ではオンライン形式はとても良いと思います。
- ・オンラインでもチャットや投票、ブレイクアウトルームの活用ができると楽しいと思います。
- ・講演はオンライン開催しながら、意見交換できる小規模な対面研修会も開催してほしいです。
- ・支部の研修は、やはりリアルで皆さんにお会いし、意見や情報の交換を直接したいと思います。
- ・内容に合った多様な形式で、今後も研修会が行われることを期待します。

Q. リアルタイムオンライン形式でスムーズに受講できましたか



～貴重なご意見をありがとうございました。有意義な研修会開催のため、今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

(研修担当 富田庸子)



職場紹介

NPO 法人さがみメンタル・ケア・センター 橋爪美津子（はしづめみつこ）

NPO 法人さがみメンタル・ケア・センターは、小田急線相模大野駅東口から徒歩5分の所にある成人＝『シンフォニー』（就労継続支援 B 型・生活介護）・グループホームと児童＝放課後等デイサービス『ふうふう』を運営している NPO 法人で、カウンセリング等の相談業務も行っています。

私達の法人が大切にしていることは、心身に障害(知的、身体、精神、発達障害)のある人達が自己の能力を十分に発揮し、メンタルケアに重点を置いて主体的かつ積極的に社会生活を営むことが出来るよう応援していくことです。『シンフォニー』では、仕事を覚えるだけでなく、自信を持つこと、協力し合うことなどが学びのテーマとなっています。不登校、就労後の挫折、ひきこもり、ニート、強迫行為(手洗い・確認など)、友人関係、家族関係、不眠、不安感、疲労感・孤独感…といった過去～現在のどこかで何らかの傷つき体験をした人達が、同じ悩みを持つ仲間と出会い、悩みを相談し合い、時にはケンカをしたり、仲直りしたりし、はげまし合ったりしながら”自分の歩む道”を探していっています。曜日ごとに異なるカリキュラム(音楽療法、言葉の教室、アートセラピー、身体ワーク、リスニング)も用意されており、人と人のつながりを大切に、共に生きるための共感性を学び合っています。特にリスニングのセラピーでは、ピアカウンセラーの養成を行っているのも私達の法人の特徴で、障害者同士が支えあって生きることを学んでいます。そして、いよいよピアスタッフとして認定されると、『ふうふう』の子ども達の送迎や活動のお手伝いを任せられます。多くのメンバーがピアスタッフとして(を目指して)頑張っています。

『ふうふう』で大切にしていることは、ハンディキャップのある子ども達に、全ての社会適応の基となる「自分は大切にされている。生まれてきてよかった。…」等々の自尊感情を育てることです。たくさんのお友達やピアスタッフのお兄さん、お姉さんと遊んだり、おやつを食べたり、曜日ごとに提供されるカリキュラム(リズム体操、音楽療法、アートセラピー、English)に参加したりすることを通して、ケンカの仕方や仲直りの仕方、あいさつの仕方などだけでなく、一見なんでもないようにだけど実は一番大事なことと思われる「泣いているお友達を励ましたり、ティッシュを持って行ってあげたりすること」が上手になっていくことを目指しています。

今年の3月で特別支援学校の教員を定年退職した私が、お世話になっている『シンフォニー』『ふうふう』を紹介させていただきました。ゆったりとした時間の流れの中で、学校では味わいきれなかった「自分が人として同じ仲間と成長しあっているという実感」をかみしめている毎日です。人生は長いです。自分らしく過ごしたり、毎日のちっちゃな幸せを仲間と共に味わってみたくなったりしたら、是非見学においでください。 <https://www.sagami-mental-care.com>

「職場紹介」大募集！

このコーナーで職場紹介をしてくださる方を募集しています。
神奈川支部に所属されている方であれば、掲載させていただきます。
医療、福祉、教育、司法などお互いを知り、効果的なネットワークを構築していくためにも、ぜひご協力をお願いします。

<連絡先>

神奈川支部 広報担当宛

e-mail : jacdpkanagawa.kouhou@gmail.com

お知らせ



■ 神奈川支部 2021 年度 第 2 回資格更新研修会(予定)

- 日 時:2022 年 2 月 11 日(金・祝) 14:00~15:30 【0.5 ポイント】
 - 内 容:「相模原市における GIGA スクール構想の取組」(仮題)
 - 講 師:話題提供者:渡邊茂一氏(相模原市教育センター指導主事)
 - Zoom によるオンライン開催
 - 参加費:500 円
- ※ 詳細が決まりましたら、神奈川支部のホームページや SOLTII (支部会員のみ) でお知らせいたします。

■ ニュースレターの配信について

ニュースレターの配信は、現在神奈川支部の Web サイトからのみにさせて頂いており、郵送はしていません。今回もホームページにアップした後、SOLTII にて「アップしました」と配信させて頂きました。お近くの会員の方でご存じない方がいらっしゃいましたら、是非神奈川支部のホームページをご覧くださいませよう、お知らせください。

<編集後記>

10 月 1 日(金)に 19 都道府県の緊急事態宣言と 8 県のまん延防止等重点措置が解除されて以降、新型コロナウイルスの新規感染者数が低い状態で維持されている今日この頃ですが、会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

この全く先の見通せないコロナ禍において、各分野の研修会が Web やハイブリット(オンライン+対面)等様々に開催方法を模索して実施されています。今年度の神奈川支部でも、役員会で色々と検討を重ねた結果、支部総会・第 1 回・2 回資格更新研修会全てをオンライン開催することといたしました。

その様な情勢の中、今回のニュースレターは、第 1 回資格更新研修会の報告を中心にお届けいたしました。役員も参加費を徴収した形でのオンライン開催は初めての実施だったため、不慣れな状況の中、予測していなかったことが次々と起き、それを一つずつ話し合っ解決しながら当日を迎えました。参加された皆様からはアンケートでご意見をいただきましたが、会員の皆様に本当にご満足いただけたのか、今も不安な気持ちが残っています。そこで、今回の第 1 回資格更新研修会やニュースレター、神奈川支部の活動全般に関してご意見・ご感想などありましたら、広報担当宛てメールアドレス(jacdpanagawa.kouhou@gmail.com)にご連絡をお願いいたします。今後のニュースレターに載せたらよい話題などありましたら合わせてお願い致します。

新型コロナウイルスに関しては、現在は落ち着いている状況とはいえ、第 6 波は来るのかなど、まだまだ先が見通せず、日常生活を安心して過ごすためには、様々に配慮しなければいけない状況が今後も続きそうです。その様な状況下でも、会員の皆様と共に知恵を出し合い、力を合わせて神奈川支部の活動を盛り上げていければと思います。どうぞ、皆様ご協力をお願いいたします。

(広報担当 橋爪 美津子・須田恭平)